

# 世界に誇るぎふの宝 清流長良川と歩む ～「長良川システム」を未来へ継ぎます～

清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ



清流の国ぎふ  
ミナモ通信

2015年、世界農業遺産に認定された「清流長良川の鮎」。

長良川は流域の人々の暮らしの中で清流が保たれ、その清流で鮎が育っています。清流と鮎は、地域の経済や歴史、食・文化と深く結びついています。

県では、生活、水環境、漁業資源が密接に関わる里川全体のシステムを「長良川システム」として捉え、その活用を進めています。

世界に誇るぎふの宝を、これからも皆さんとともに守り、受け継いでいきます。

■問／県庁里川振興課 ☎058(272)8455



皆でより良い  
活用方法を  
考えていきましょう！



## ○「長良川システム」をブランド化 「清流長良川の恵みの逸品」

長良川の恩恵を受け育まれた自慢の商品を、世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」として認定しています。天然鮎や鮎菓子といった食品はもちろん、伝統工芸品など、現在106品目が認定されています。



このマークが  
目印！



玉井屋本舗  
玉井博祐さん

鮎をモチーフにした土産物をつくらうと、約110年前に生まれた鮎菓子。「清流長良川の恵みの逸品」には14品が登録されています。それぞれ個性があるので、食べ比べてみてください。ロゴマークを付けたことで、「認定された商品をつくっている」という自覚が生まれ、より積極的にPRするようになりました。

## ○長良川の豊かさを楽しく学べる 「清流長良川の鮎」体感ツアー

「長良川システム」を県内外の人へ発信し、知っていただくため、長良川流域の農林漁業、伝統文化、環境学習などを体感できるツアーを企画しています。1月以降は3コースを実施予定ですので、お楽しみに。



### 冬コースの概要

- 1月27日(土)～28日(日)  
郡上白鳥+牧歌の里で雪遊びと観光列車「ながら」でGO!
- 2月3日(土)  
“関刀匠”と“美濃和紙職人”の手しごとめぐり
- 2月10日(土)  
郡上本染め寒晒しとシルクスクリーン手拭いづくり

詳しくは



NPO法人メタセオアの  
森の仲間たち代表理事  
永吉剛さん

遊びを通して、郡上市の自然や文化を学ぶ場を提供しています。昨年の「清流長良川の鮎」体感ツアーは、雪遊びやアニマルトラッキングを体験するコースを実施。アニマルトラッキングでは足跡などの手がかりから、動物の種類や向かっている方向などを考えるゲームをしました。今年も暮らしに息づいた遊びを企画しますので、ご期待ください。

## ○「長良川システム」の未来を考える 世界農業遺産国際シンポジウム【無料／要申込み】

世界農業遺産の観光や地域振興への活用をテーマとした国際シンポジウムです。基調講演やパネルディスカッションのほか、「清流長良川の恵みの逸品」のPR、国内にある他の認定地域の紹介などもあります。

とき **1月25日(木) 13:30～15:30** ところ **ぎふ清流文化プラザ**

## 清流長良川あゆパーク

「清流長良川の鮎」の情報発信や、川と魚に親しむ体験学習ができる拠点として来春オープンします。

ところ  
郡上市白鳥町長滝地内  
(道の駅「白鳥」の隣接地)

オープン予定  
平成30年 春

